

三浦外洋セーリングクラブ 理事会議事録

開催日：2024 年 2 月 13 日(火)18:30～18:54

場所：新橋駅前ビル 1 号館 6 階 606 セミナールーム+Zoom ミーティング

出席者：理事：荒嶋、安藤、飯島、五十嵐、石原、臼田、尾山、加藤、小板橋、黒岩、坂口、三輪、鈴木、高木

監事：最川、小川(Zoom 参加)

顧問：児玉、関根、平松(敬称略)

オブザーバー：内倉、栗山

尾山理事の進行により新橋の会議場と Zoom ミーティングの併用によるハイブリット会議を実施。開始時点で参加人数(理事の出席 13 名)が定則を満たしていることから理事会の成立が確認され、飯島会長より挨拶があり、議事録作成人に加藤理事、議事録署名人に荒嶋理事を指名して下記議案を審議した。

<審議事項>

1. 基金役員について

飯島会長より小板橋理事と三輪理事が 70 歳の定年を迎え退任することから基金運営委員会の委員選出が行われ、シーボニアフリートから吉田理事、小網代フリートから鈴木理事、基金運営委員長には石原理事が選出され承認された。

2. JSAF の能登半島地震寄付について

飯島会長より JSAF から 1 月に起きた能登半島地震による能登半島セーリング資金義援金の依頼を受けたと報告があった。以前東日本大地震の時は 30 万円の義援金を送ったが、今回はセーリング関連の被害状況がそれほど大きくない為、関東 4 団体と足並みを揃え 10 万円を上限として義援金を寄付することが提案され承認された。

<報告事項>

1. 外洋団体長会議について

飯島会長より 1 月 27 日に全国団体長会議、1 月 28 日に外洋団体長会議が行われたと報告された。その中で小笠原レースの際に海上保安庁からの指導により中止した体験セーリングの件について、JSAF がガイドラインを提示しており、それに沿って実施する必要があると報告された。また団体長会議の資料について、容量が大きいためご希望をいただければ個別にお送りすると報告された。

2. 合同会議について

荒嶋理事より、外洋安全委員会から「外洋特別規定 2024-2025 の改訂内容について」、外洋計測委員会から「外洋計測委員会の組織について」「2024IRC 規則の改正点について」「2024ORC 規則の改正点について」、通信委員会から「最新の通信機器のご紹介」、レースマネジメント委員会外洋小委員会から「外洋艇レースの運営における注意事項」、ルール委員会外洋規則小委員会から「裁量ペナルティの適用上の課題について」「外洋規則 2009 の役割について」、専門委員会からパネルディスカッションにて「外洋艇レース普及の方策について」のセッションが実施され、デジタルインフラの可能性と課題について各水域からの事例説明等があったと報告された。また、レースマネジメント委員会外洋小委員会・中部の三浦会長より外洋系レースオフィサーを増やしたい、公示や SI の記載など MOSC では行われているがまだ各水域では書式が統一されていないので進めることと、ロングディスタンスレースでは通過すべきでない海域などの注意事項を明記した方がよいとの提議があったことが報告された。三輪理事より JSAF ルール委員会としてリコールにおけるペナルティの海外で行われている事例を紹介したと報告された。高木安全委員長より OSR の日本語訳の販売開始が 3 月、発送が 3 月末になる予定であると報告された。坂口理事より JSAF 通信委員会として通信の最新のトラッキングや衛星の話を紹介したと報告された。

3. 昨年亡くなられた JSAF の戸田さんに MOSC よりお悔やみをお送りしたところ、奥様から戸田さんの著書と紹介された Kazi 誌をお礼に頂きましたと報告された。

この後 19 時より総会があることを確認して総会前理事会の議事をすべて終了し 18 時 54 分に閉会した。

以上

2024 年 月 日

議事録署名人